

プログラム

---

2022 年 3 月 19 日 (土) 9:00~10:30 第 6 会場 (仙台国際センター会議棟 3F 白檀 1)  
シンポジウム 1 「JRC 蘇生ガイドライン 2025 に向けて: 2020 年での課題 1」

座長: 坂本 哲也 (帝京大学 医学部 救急医学)  
相引 眞幸 (八王子山王病院 救急科)

- S1-1 BLS アルゴリズムを受講生に伝えるポイント  
西山 知佳 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端中核看護科学講座 クリティカルケア看護学分野)
- S1-2 JRC 蘇生ガイドライン 2020 での、2025 に向けての ALS の課題  
真弓 俊彦 (産業医科大学 医学部 救急医学講座)
- S1-3 心肺蘇生における適切な薬剤投与のタイミングとは  
船崎 俊一 (埼玉県済生会川口総合病院 循環器内科・リハビリテーション科)

2022 年 3 月 19 日 (土) 10:45~11:45 第 6 会場 (仙台国際センター会議棟 3F 白檀 1)  
一般演題

座長: 菊地 研 (獨協医科大学 救命救急センター)  
漢那 朝雄 (聖マリア病院 侵襲期全身管理科)

- O-1 院外心停止患者のプレホスピタルにおける高度気道管理の暴露時間と神経学的転帰の関係  
福田 龍将 (虎の門病院 救急科)
- O-2 地方大学で 2 回開催した COVID-19 流行下における JMECC (日本内科学会内科救急 ICLS コース) の振り返り  
岡澤 成祐 (富山大学附属病院 第一内科)
- O-3 心肺蘇生時の血液ガス分析による死亡率と神経学的転帰の予測  
松浦 純也 (済生会熊本病院 心臓血管センター 循環器内科)
- O-4 心停止認識補助装置を用いた一般市民による心停止の認識および行動の障壁の変化の検討  
本間 洋輔 (千葉市立海浜病院 救急科)
- O-5 改訂版院内ウツタイン様式を用いた院内心停止登録の現状  
西山 知佳 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 クリティカルケア看護学分野)

2022 年 3 月 19 日 (土) 13:30~14:00 第 6 会場 (仙台国際センター会議棟 3F 白檀 1)  
基調講演

座長: 畑中 哲生 (一般財団法人救急振興財団 救急救命九州研修所)

- KL JRC 蘇生ガイドライン作成の展望と国際連携について  
野々木 宏 (大阪青山大学 健康科学部)

2022 年 3 月 19 日 (土) 12:10~13:10 第 6 会場 (仙台国際センター会議棟 3F 白櫃 1)  
教育セミナー (J-ReSS ランチョン) 17 (LS17)

座長： 黒田 泰弘 (香川大学医学部・医学研究科救急災害医学)

LS17 TTM and Post-cardiac arrest care: A new era  
Benjamin S. Abella (University of Pennsylvania)

共催：株式会社メディコン

2022 年 3 月 19 日 (土) 14:15~15:45 第 6 会場 (仙台国際センター会議棟 3F 白櫃 1)  
シンポジウム 2 「JRC 蘇生ガイドライン 2025 に向けて：2020 年での課題 2」

座長： 清水 直樹 (聖マリアンナ医科大学 小児科学教室)  
櫻井 淳 (日本大学医学部 救急医学系救急集中治療医学分野)

- S2-1 小児一次救命処置・予防や早期認識、そして一次救命処置  
池山 貴也 (あいち小児保健医療総合センター 集中治療科)
- S2-2 小児二次救命処置・自己心拍再開後の集中治療の、現在とこれから  
黒澤 寛史 (兵庫県立こども病院 小児集中治療科)
- S2-3 妊産婦心肺蘇生の経緯とこれから  
櫻井 淳 (日本大学医学部 救急医学系救急集中治療医学分野)
- S2-4 市民によるファーストエイド JRC2020 と今後の課題  
田邊 晴山 (救急救命東京研修所 研修部)

2022 年 3 月 19 日 (土) 16:00~17:30 第 6 会場 (仙台国際センター会議棟 3F 白櫃 1)  
シンポジウム 3 「JRC 蘇生ガイドライン 2025 に向けて：2020 年での課題 3」

座長： 武田 聡 (東京慈恵会医科大学 救急医学講座)  
新田 雅彦 (大阪医科薬科大学 救急医学教室)

- S3-1 COVID-19 パンデミックに果たした欧米 NeuroICU の役割とわが国の課題  
永山 正雄 (国際医療福祉大学大学院医学研究科 脳神経内科学)
- S3-2 12 誘導心電図伝送：急性冠症候群に関するプレホスピタルとの連携  
田原 良雄 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
- S3-3 EIT 領域の現在のエビデンスと 2025 年への課題  
松山 匡 (京都府立医科大学 救急医療学教室)
- S3-4 NCPR の現状と課題  
杉浦 崇浩 (豊橋市民病院 小児科 (新生児))

## 参加者へのご案内

---

### 開催形式について

本シンポジウムは 2022 年 3 月 19 日（土）に仙台国際センターにおいて現地開催いたしますとともに、当日はライブ配信を予定しております。なお、第 49 回日本集中治療医学会学術集会の配信サイトでのライブ配信となりますため、第 49 回日本集中治療医学会学術集会より参加申込した方のみライブ配信は視聴可能です。会期後のオンデマンド配信は予定しておりません。

### 参加申込について

第 49 回日本集中治療医学会学術集会にもご参加の場合：

- 本シンポジウムは第 49 回日本集中治療医学会学術集会との共同開催となります。  
第 49 回日本集中治療医学会学術集会の参加者は本シンポジウムに参加・視聴可能です。  
第 49 回日本集中治療医学会学術集会の参加申込はこちら

<https://www.jsicm.org/meeting/jsicm49/registration/index.html>

- 参加証明書・領収書はサービスカウンターよりダウンロード可能です。
- 現地参加の場合、以下のとおりネームカードの発券をおこなってください。

【会期中の参加受付（ネームカード発行）】

受付場所	仙台国際センター	展示棟
受付時間	3 月 18 日（金）7:30～16:00	
	3 月 19 日（土）8:00～17:00	
	3 月 20 日（日）8:00～12:00	

第 14 回日本蘇生科学シンポジウムのみご参加の場合：

- 第 14 回日本蘇生科学シンポジウムのみご参加の場合は参加費 3,000 円です。  
ただし、3 月 9 日（土）現地参加可能に限ります。
- ホームページフォームより【3 月 14 日（月）まで】にお申込のうえ、銀行振込にてお支払ください。  
振込先は参加登録完了時の自動配信メールに記載しております。
- 参加証明書・領収書は会場にてお渡しいたします。

### クローク

【設置場所】 仙台国際センター 駅前広場

【開設時間】 3 月 18 日（金）7:30～17:30

3 月 19 日（土）8:00～17:45

3 月 20 日（日）8:00～15:30

## 教育セミナー

本学術集会の教育セミナー（ランチョン、イブニング）やその他の共催プログラムは整理券制ではありませんので、直接会場へお越しください。お弁当の数には限りがありますので、予めご了承ください。なお、第 14 回日本蘇生科学シンポジウムのみご参加の方は教育セミナー（J-ReSS ランチョン）17（LS17）に限り聴講可能です。

## 座長・演者へのお知らせ

### 【1】座長の方へ

- ご担当セッション開始時刻の 15 分前になりましたら講演会場内スクリーンに向かって右前方の「次座長席」にご移動、ご着席いただき、スタッフにお声がけください。
- 時間厳守にご協力ください。一般演題の持ち時間は 10 分（発表 7 分＋質疑 3 分）です。なお、一般演題以外の時間配分は、事前にお知らせしているとおりです。計時装置を使用して、終了時刻をお知らせします。

### 【2】発表者の方へ

- セッション開始時刻の 30 分前までに必ず「PC 受付」にお越しいただき、発表用データ（USB メモリまたは PC）の登録、試写をおすませください。「PC 受付」を通らずに直接「会場内 PC 席」へのお持ち込みは禁止します。また、「PC 受付」での発表用データの修正はご遠慮ください。

【設置場所】 仙台国際センター 展示棟 展示室 2

【開設時間】 3 月 18 日（金） 7:30～17:00

3 月 19 日（土） 8:00～17:00

3 月 20 日（日） 8:00～11:30

- ご担当セッション開始時刻の 15 分前になりましたら講演会場内スクリーンに向かって左前方の「次演者席」にご移動、ご着席ください。
- 時間厳守にご協力ください。一般演題の持ち時間は 10 分（発表 7 分＋質疑 3 分）です。なお、一般演題以外の時間配分は、事前にお知らせしているとおりです。計時装置を使用して、終了時刻をお知らせします。
- ご発表時には演台上のキーボードまたはマウスを使用し、ご自身で操作していただきます。また、演台上のモニターにはスクリーンと同じスライドが表示されますので 発表者ツールは使用いただけません。

### <発表用データについて>

USB メモリにより発表用データをご持参いただく場合：

- Mac での作成データをご使用の場合は、必ずご自身の PC をご持参ください。
- 用意する PC の OS は Windows 10、PowerPoint は 2013 以降のものになります。
- アプリケーションは Microsoft PowerPoint を搭載しています。
- 画面デザインはワイドスクリーンです。

- 文字化けや文字ずれを極力避けるため、フォントは OS 標準のものをご使用ください。  
例：Century、Century Gothic、Times New Roman、MS 明朝、MS ゴシック、メイリオ、游ゴシックなど
- お預かりした発表用データは、学術集会終了後、責任をもって消去いたします。
- オリジナル動画ファイルの作成は OS 標準のコーデックを使用し、パワーポイントに埋め込んでください。

PC をご持参いただく場合：

- 利用機種、OS、アプリケーションに制限はありませんが、モニター出力は HDMI 又は D-sub15 ピンのみです。変換コネクタが必要な場合には各自でご用意ください。
- 動画がある場合、PC 受付にて再生できることを必ずご確認ください。本体のモニターに動画が表示されても外部出力画面には表示されない場合がありますので、発表に使用する PC の外部出力にモニターを接続してご確認ください。また、別の PC で作成された動画は再生できない場合がありますのでご注意ください。
- 音声もご使用いただけます。
- スクリーンセーバー、ウイルスチェック、ならびに省電力設定はあらかじめ解除しておいてください。
- 電源ケーブルを必ずご持参ください。試写から実写までのスタンバイ中も PC は立ち上げたままとなりますので、バッテリーでのご使用はトラブルの原因となります。
- 何らかのトラブルによりお持ちいただいた PC が作動しないことがあります。バックアップデータを USB メモリにてご持参ください。バックアップデータは Windows 対応のものに限ります。
- 発表終了後は速やかに PC をお引き取りください。

※ タブレットやスマートフォンによる発表には対応していません。

※ PC が多様化しており、接続等のトラブルが多発しております。

必ず「PC 受付」にて接続を確認し、試写をすませてください。